



Via Latina 22

2026 年 1 月 349 号

総本部よりのお知らせーマリア会

内 容

ラテンアメリカ地区の初誓願式	1
待降節の出会いが総長評議員会のイタリア地区訪問を特徴づける	2
SM と FMI の総長評議員会、年二回の協力プロジェクトの会合	4
正義の人： 福者ギョーム・ジョゼフ・シャミナード	5
マリアニスト列聖請願総代理とマリア会資料室長（AGMAR）の任命	8
2026 年 マリアニスト家族の典礼暦	10
2025 年 物故者名簿	11
2026 年 誓願者と叙階者の記念日	12
出版物	14
・ ファウスティーノ	14
・ マリアニスト家族における資料の分かち合い	14
・ 汚れなきマリア修道会総長の回章	14

ラテンアメリカ地区の初誓願式

2025 年 12 月 18 日、ラテンアメリカ地区は、ペルー、カラオのマリアニスト・サン・アントニオ校の聖堂で、Luis Norberto Sánchez Suárez（コロンビア）の初誓願を祝いました。同時に、私たちはペルーの CLM/MLC（信徒マリアニスト共同体）の創立、入会式、そして最初の奉献式を祝いました。これはマリアニスト家族にとっても強く焦点を当てた式典でした、それは、ペルーCLM/MLC、アリアンス・マリアル、そしてマリアニスト修道者のメンバーが参列していたからです。



左から：Luis Norberto Sánchez Suárez 士, Mauricio Silva 士と Eduardo Rodríguez 師

この誓願式はマリア会、Victor Müller 神父によって司式され、また José Vicente López 神父、Eduardo Rodríguez 神父、そして Carlos Julio Barragán 神父によって共同司式されていました。誓願は、この誓願式のためにチリから当地に赴いたラテンアメリカ地区長、Mauricio Silva 士に受け入れられました。この式典には、マリア会 Douglas Roper 士、そして1年目の修練者 Pedro Guerrero Espejo、またマリアニスト家族の多くの親しい友人が出席していました。大きな希望に満ちた温かい歓迎の雰囲気に溢れていました。

その後、参加者は兄弟的分ち合いを行い、マリアニスト家族的な昼食をとりました、そこで、彼らは美味しい食事だけではなく兄弟的で楽しい対話や歌を分かち合いました。

待降節の出会いが 総長評議員会のイタリア視察訪問を特徴付ける



イステイトウト・サンタ・マリア共同体：総長評議員会はローマのマリアニスト・イステイトウト共同体でイタリア地区への視察訪問を終了しました

ローマのサンタ・マリア校とサント・ノメ小教区から、南部の小教区－サンタ・マリア・レジナ・デラ・パス、聖ドミニク、聖ジョヴァンニ・バプテスト、そしてSS.アンヌンツィアーター、そして北部のスカルダフェッロの Salus Infirmorum のマリア聖地とパランサのシャミナード保養地まで、総長評議員会はイタリア全土の様々な形のマリアニスト生活を体

験しました。その忠実さが数十年にも及ぶ信徒の協力者たち、信徒マリアニスト共同体、FMIのシスター方、生徒たち、修道者たちは、2025年11月28日から12月12にかけて行われたイタリア地区への教会法上の視察訪問の正念場を具体的なものとししました。



スカルダフェッロ共同体：André-Joseph Fétis 師, Stefano Cirelli 士, Loris Floriani 師, Dennis Bautista 士, Dino Battiston 師と Pierangelo Casella 師

共同体の集まりで、総長評議員会は地区の修道者たちとの霊的会話をリードしました。これらの意見交換は、信徒マリアニストとの協力を強め若者との関係を深めるために、地区の現状についての本当の評価を勧め、新たな可能性を探る望みとオープンさを披歴するものでした。

総長評議員会はスカルダフェッロとコンドフリの兄弟たちと共に待降節に入り、この訪問を祈りに満ちた期待と希望のうちに開始しました。パランサで、評議員のメンバーは FMI シスターたちの共同体で共に集まり、ミサを捧げ、マッジョーレ湖を臨む場所で、共に分かち合うマリアニスト家族の表れである夕食を分かち合いました。



コンドフリ：Pablo Rambaud 師と Jérôme Balakiyema 士
コンドフリの青少年センターの皆さんと共に

サンタ・マリア校の保護者、無原罪の聖母マリアの祭日に、総長評議員会は12月8日のスペイン広場で年毎の集まりに生徒と両親のグループに加わり、無原罪の聖母の柱の下に

花を供えました。

平均年齢 78 才の 27 名の会員にとって、イタリア地区は家庭です。地区は規模が小さく会員も高齢化していますが、堅忍、親切なもてなし、そしてマリアニスト・カリスマへの深い愛を特徴とする堅実な証しをしています。

SM と FMI の総長評議員会、年二回の協力プロジェクトの会合

マリア会（SM）と汚れなきマリア修道会（FMI）の総長評議員会が、マリアニストの生活と統治における共通の関心事について話し合うため、2025 年 12 月に半年ごとの会議のためにローマのエドワード・ジェンナー通りの FMI の総本部に集まりました。両評議員会は協力に関する最近の話し合いを振り返り、共同プロジェクトがマリアニスト家族世界評議会の最新の目標をどのように手助け出来るかについて考察しました。

出席メンバーは現在と将来の協力の領域について最新状況を分かち合いましたが、この分かち合いにはアジャンとラ・マドレーヌのマリアニストの史跡に対するより意図的で協調的なアプローチが含まれており、また Horizons のような養成プログラムや養成者のナザレプログラムも含まれていました。評議員会はまた行政単位の評議員会や上長の養成に関する進行中の業務、視察訪問の組織、そして、いくつかの行政単位の特有の課題へどう応えるかを話し合いました。



SM と FMI の総長評議員会は、2025 年 12 月に隔年開催の集まりを行います。
前列：Sr. Micaela Lee Pok-Sun (財務部長), Sr. Susanna Kim Su-Seon-Na (総長), Sr. Prudence Adoki (霊性部長), Sr. Clotilde Fernández del Pozo (教育部長). 後列：Jérôme Balakiyema 士, André-Joseph Fétis 師, Pablo Rambaud 師, Dennis Bautista 士

会議では、特にヨーロッパとラテンアメリカにおける将来の課題、およびベトナムでの可能な協力分野、について考察しました。次の会議は 2026 年 6 月に予定されています。

マリアニスト家族のこれら 2 つの枝が存在する国では、このような SM と FMI 行政単位

の評議員会間で会議が、協力の可能性を探り、また協力を強化するよう、また責任者たちが今日の修道生活の課題にどのように応えることができるかについての様々な考えを分かち合うよう奨励されています。

正義の人： 福者ギョーム・ジョゼフ・シャミナード

福音宣教の最終的な目標は人々の聖化です。それは信仰について教育するという課題だけではなく、男女の人々がその信仰を生きるよう教育するという課題でもあります。言い換えると、信仰は人々の中に受肉され、彼らを真の変容へと導かなければならないのです。このためには、戒律に基づく道徳だけでなく、真福八端のキリストとの交わりや模倣というやり方も十分ではありません。私たちは人間的な徳を無視してはなりません。言葉の最も一般的な意味において徳が意味する「善をなす心構え」を私たちは養う必要があるのです。これら善をなす心構えの中に正義があり、『カトリック教会のカテキズム』1807 番によれば、正義とは：「神と隣人とに帰すべきものを帰すという一貫した堅固な意志によって成り立つ倫理徳です。神に対する正義は「敬神徳」と呼ばれます。人間に対しては、各自の権利を尊重させ、人間関係の中で個人と共同善とに関する公平を促進する調和を定めさせます。」

シャミナードの人生は、神の意思を探し求め、それを実践することに捧げられ、その意思に、彼は常に忠実に留まりました〔1〕。彼は神に対する義務を満たすことが重要であることを深く確信していたので、解決すべき問題が緊急で数多くても、日々の祈りや年の大黙想を犠牲にするようなことは決してありませんでした。彼は、過剰なあるいは緊急な仕事量に直面しても共同体や個人的な祈りを怠らないよう、会員の校長たちに強く求めていました。それどころか、仕事が重要になればなるほど、さらに祈りへの忠実さが必要になりました。彼は言っていました、「すべてのキリスト者の、そしてより一層すべての修道者の第一の義務は祈りであり、またしばしば神に頼ることです；つまり、他のすべてのことは二次的なことにならなければなりません。」〔2〕



ローマのイステイトゥート・サンタ・マリアでのシャミナード神父列福式の前日に行われた前晩の祈り

これから私たちは、シャミナード神父がマリア会を治め、男女マリアニスト修道者と関わるに際して示した正義を強調したいと思います。この件に関して、シャミナード神父はこの

正義の振る舞いのもつ福音的な忠実さと単純さによって、すべての人の目を驚かせました。その生涯全体を通して、シャミナード神父は、絶望的な状況にもかかわらず、また最大の犠牲を払って、創立者としての自分の義務を果たしました。創立者として、総長シャミナード神父は教会に対し、国家に対し、またマリア会に対して、自分自身は神から受けた使命への責任があると考えていました。マリア会への彼の愛は、神が彼に霊示されたように、また聖座が教皇グレゴリオ 16 世によって二つのマリアニスト修道会に公布された 1839 年 4 月の賞賛の教令において両修道会を承認し、賞賛されたように、その最初の熱意における、また修道会のオリジナルな原則における使命を保つよう彼を導きました。これは、カイエ神父が総長としてその義務を果たすように、とシャミナード神父が主張した理由です。総長シャミナード神父の地位の正当性は 1846 年 2 月 9 日にシャミナード神父に手紙を書いたシュボー神父によって認められましたが、彼はこの手紙を「この人たちは、あなたが彼らに依頼したことを実行すると約束し、あなただけが会則に敬意を示すことを強く求めることができる人だということを納得させました。神とマリア会に対してこれを約束したので、彼らはこれらの乱用を止めさせ、彼らが行おうとしていること以外何もすることができないと考えなければならない」ということを承認するために書いたのです。〔3〕

総長シャミナード神父は、会員と事業の取り扱いにおいて、特にその人生の最後の年月の間、その補佐たちとの対立の間、常に正義に基づいて行動しました。非常に多くの疑惑、半端な真実、そして告発のさ中であって、この年老いた神父はすべての人に対して率直で、信頼できる人であり続けました。何も隠し事がなく、真実を語っていた彼は、ある日、1847 年 10 月 9 日に、自分を弁明して司教たちに回状を送りたいと望んでアルビの大司教に手紙を書きました：「大司教閣下、もし閣下がまだ決定に至るのが難しいと思われるのであれば、…私はあなたにお送りした回状のコピーを配布するつもりです。…私は一語も変えないでしょう。」彼の行いは非常に立派なものだったので、彼が司教たちに手紙を書いたとき、彼の敵対者たちから受け取った手紙のコピーを同封するよう気をつけたほどでした。彼のマリア会総長の後継者、ジョージ・カイエ神父は、マリア会を脅かす種々の危険については、シャミナード神父が意見を述べることを禁止しました。このように、シャミナード神父は、リーダーシップに関して反対の見方を主張すべきと感じた時はいつでも、自分を弁護する機会が得られるように、カイエ神父の面前で弁護しました。シャミナード神父は、1845 年 11 月 25 日付けのサン・クロードの司教あての手紙で述べているように、自分はあらゆる事において真理と正義と自分の良心に従って行動するよう努めた、と説明しています。彼は創立者として、またマリア会の司祭として、常に自分の良心に従って誠実に行動し、修道者と彼らの事業の霊的善を追求しました。マリア会の善のために真実を語ることは、彼にとって道徳的な要請でした。〔4〕この意味で、彼の苦しみは「良心の殉教」の一つの形と考えることができます、というのは、彼は自分の権利を法的に主張したり、自分に対してなされる告発に対して弁護したりすることができなかったからです。

また、マリアニストシスター（FMI）の財政運営における彼の公平性も事実と認められま

した。このことを理解するためには、両修道会の創立の時から、創立者シャミナード神父は霊的上長という立場で、SM と FMI の財政を管理していたということを知ることが必要です。FMI は総長評議員会の統治行為を審査のためにシャミナード神父に提出していました。ところが、1831 年に、FMI の財政状況は非常に困難になり、FMI と SM の財政を分離しなければならない地点にまで達しました。この問題を解決した方法はシャミナード神父の功績ですが、上長、メール・サン・ヴァンサンの 1832 年 12 月 30 日の次の声明で明らかのように、彼はその正義のセンス、その忠誠心、その感受性の故に称賛に値しました：「十分な検討を重ねた結果、私たちの総長シャミナード神父が、寛大さと感受性を通して、彼が私たちの修道会に提供していた様々なお金の総計、彼が私たちから借りたと言明している総額を超過している総計、の支払いを免除してくれたことに留意して、署名者である私は皆さんに、マリア会の 8,203.80F の負債を免除する権限をどうか私に与えてくださるようお願いいたします。」数年後、総長評議員会がシャミナード神父を告発した時、メール・サン・ヴァンサンは FMI の財務諸表をアジャンの司教に提出して、彼を再度弁護しました。ルッセル神父はマリア会の利益のために FMI の財源から資金を使い込んだとしてシャミナード神父を告訴していました。この告訴を受けて、メール・サン・ヴァンサンは憤然として、シャミナード神父の口座は常に適切であった、と断言しました。要するに、シャミナード神父の総長としての年月の間に起こったあらゆる管理上の問題にもかかわらず、彼は常に正確さと誠実さをもって行動していました：却って、その無能さと軽率さによって、シャミナード神父が警告していた不正な資金管理を引き起こしていたのは、彼の敵対者たちだったのです。〔5〕

人々に対する総長シャミナード神父の正義の他の例は、一定の契約債務を行ったために二人の残念な会員がマリア会を去った 1840 年に起こりました。二人の上長クルーゼ士は、彼らが去るに当たってこれらの負債を返済するよう命じました；しかし、教会の善のために、総長は弁明を求めることなく彼らを去らせるようクルーゼ士に助言するのを躊躇しませんでした。クルーゼ士は応酬しました：「これだけのお金を私はどこで手に入れたらいいでしょうか？この二人の会員の負債額 7,500F は、私たちの現状にとってとてつもない金額ですよ！要するに、総長は私が支払うよう望んでいます、仕方ありません、私は主の助けによって支払いましょう。」〔6〕

しかし、最も解決の困難なケースは、オギュスト・ブリュニョン-ペリエール氏が 1832 年にマリア会を去る時に彼と取り結んだ友好的な金融契約でした。上述のこの困難なケースを引き起こした契約について異議を唱えることができるよう、総長補佐たちがシャミナード神父に総長職を辞任するよう迫った時、シャミナード神父はこれに同意し、それで裁判所がこの契約の正当性について裁定しなければなりませんでした。実際には、1844 年に言い渡された仲裁判断において、オギュスト氏とマリア会間の仲裁者である弁護士、ラベス氏の専門技能によって、シャミナード神父とオギュスト氏間の契約は「賢明さと智慧のある行為」であったとの結論に達しました。〔7〕

最後に、その財産をマリア会に遺贈していないことで、シャミナード神父は会に対して公

平ではない、と数名の会員が非難しました。その財産の法的所有者として、彼は遺言によって自分の財産を自由に処理することができました；それで、彼はそれらの財産をボルドーの貧しい人々に与えるよう明記しました。こうして、彼は正義の行動だけでなく、慈善活動も行ったのです。[8] 福者シャミナードの行動の正当性は、彼とマリア会の間での財産の区分に関する 1849 年の仲裁判断によって確認されました。この仲裁はボルドーの司祭であり、正義に関する論文の著者であるデュロリー神父に委ねられ、彼はその判断において、マリア会に対する創立者の忠誠心、利他主義、寛大さを確認しました。

[1] D. Antoine Enjugier, SM, *Positio*.1929, p. 825.

[2] Fr. Hippolyte Hérail, SM, *Positio*.1929, p. 827 ; Rev. Fr. François Roquefort, *Positio*.1929, p. 828.

[3] Fr. Émile Biron, SM, *Positio*. 1929, pp. 807-808.

[4] Fr. Émile Biron, SM, *Positio*. 1929, pp. 806-807.

[5] Fr. Lebon, SM, *Positio*. 1929, pp. 801-802 ; Mme Marie Lucie Rousselot, *Positio*. 1929, p. 814.

[6] Fr. Lebon, SM, *Positio*. 1929, p. 803.

[7] Fr. Lebon, SM, *Positio*. 1929, p. 803; Fr. Henri Rousseau, SM, *Positio*. 1929, p. 926.

[8] Fr. Lebon, SM, *Positio*. 1929, p. 804; Fr. Eugène Scherrer, SM, *Positio*. 1929, p. 809.

マリアニスト列聖請願総代理と マリア会資料室長（AGMAR）の任命



汚れなきマリア修道会総長、シスタースーザンナ・キムとマリア会総長アンドレ・ジョゼフ・フェティス師が相互の合意によって、FMI のシスターフランカ・ゾンタを 2026 年 7 月から 2 つの修道会の列聖請願総代理として任命しました。この任命に基づき、シスターフランカは全てのマリアニスト列聖調査のフォローアップと遂行の責任を負います。この肩書で、彼女はまた列聖調査活動につき 2 つの修道会を代表して列聖庁との業務責任を負います。

私たちは非常に重要なこの奉仕を承諾された彼女の寛大さに感謝します。

シスターフランカはアントニオ・ガスコン師の後を継ぎますが、彼は私たち 2 つの修道会のため過去 20 年にわたりこの責任を果たしてきました。私たちは、この分野で彼が果たした重要な仕事と、そしてその結果、すべてのマリアニスト家族のために得られた成果について彼に感謝します。シスターフランカと連携して、彼はいくつかの列聖活動に彼の経験を継続して提供してくれます。私たちの二人の福者である創立者によって霊示された計画の中心に聖性がありました、ですから私たちは、私たちの尊者と福者である兄弟、姉妹の模範によって私たち自身の聖性の道において励まされます。





アントニオ神父は9月の初めからスペインでの彼の任務を継続することが決まっていますので、エディ・アレクサンドル師がマリア会資料室（AGMAR）の責任者となります。アーキビストとして養成されたエディ神父は、所属するフランス地区のため既にこの仕事を実践しています。彼は、マリアニスト・カリスマに関するその歴史的調査とそれに由来する出版物によって私たち多くのひとに知られています。彼はボルドーの

マドレーヌ聖堂で几帳面で通常の奉仕を継続してくれます。私たちはこの新たな責任を受諾してくれたエディ神父に感謝します。私たちはまたマリア会への奉仕のためその兄弟たちを派遣された行政単位にも感謝します。

2026年 マリアニスト家族の典礼暦

2026年 マリアニスト家族の典礼暦



1月

10: 福者メル・マリー・ド・ラ・コンセプションの記念日、創立者（FMIには祝日）

22: 福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナード司祭の記念日、創立者

2月

02: ボルドーのコングレガシオン会員が初めて奉献した記念日

3月

25: 神のお告げ、マリアニスト家族の保護の祝日（家族の四つの枝はその共通の召命を祝う、マリアが“はい”と答えた日）

5月

25: キリスト者の助け手である聖母マリア、汚れなきマリア修道会の創立記念日（教会の母聖マリア）

31: 聖母マリアの訪問、アリアンス・マリアル保護の祝日

8月

13: 福者ヤコブ・ガッブ司祭殉教者の記念日

9月

03: 福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナードの列福26周年記念日（2000年）

12: マリアのみ名、マリア会の保護の祝日

18: 福者カルロス・エラーニヤと同志殉教者の記念日

10月

02: 聖なる守護の天使、マリア会創立の記念日

11: 世界マリアニスト祈りの日 ピナル・デル・リオ(キューバ)エル・コブレの慈愛の聖母巡礼堂、との交界のうちに

11月

06: 福者ミゲル・レイバール司祭と同志殉教者の記念日

05-07: マリアニスト家族世界評議会の会議

12月

08: 無原罪の聖母マリア、信徒マリアニスト共同体と汚れなきマリア修道会の保護の祝日

2025年 物故者名簿

#	Name	Date		Place	Age	Prof.	Unit
1	*James Allen DeLong	Jan.	18	Cupertino, CA	92	71	US
2	A. Joseph Barrish	Jan.	20	Dayton, OH	95	77	US
3	Richard Joseph Dix	Feb.	2	San Antonio, TX	92	75	US
4	Friedrich Pachinger	Feb.	6	Freistadt	92	74	OE
5	*Robert Witwicki	Feb.	13	Bordeaux	82	62	FR
6	James Vorndran	Feb.	22	Centerville, OH	84	65	US
7	Donald Eugene Neff	Feb.	23	Centerville, OH	94	74	US
8	Gary Bernard Eck	Feb.	25	Kettering, OH	79	59	ME
9	Richard Harold Hartz	Mar.	15	Mineola, NY	83	64	ME
10	James Joseph Christiana	Apr.	5	St. Louis, MO	72	34	US
11	*Albert Baffrey	Apr.	12	Issenheim	91	72	FR
12	James Joseph Kostansek	Apr.	20	Rainbach	86	67	OE
13	Gottfried Peyr	May	12	Freistadt	85	68	OE
14	André Brissinger	Jun.	28	Colmar	94	75	FR
15	William Thomas Bolts	Jul.	3	Cupertino, CA	89	70	US
16	John Raymond Habjan	Sep.	1	Kettering, OH	80	61	US
17	*Patrick Giraud	Sep.	1	Bordeaux	92	71	FR
18	Désiré Cadas	Sep.	19	Réquista	93	74	FR
19	*Robert Emmet Hughes	Sep.	24	Cupertino, CA	93	76	US
20	Prudencio Zuazo Echazarra	Oct.	7	Zaragoza	92	75	ES
21	Robert Anthony Facht	Oct.	8	Kingston, NY	83	64	ME
22	*Ralph Joseph Doorack Lober	Oct.	12	Lima	96	78	LA
23	*José Ramirez	Nov.	17	San Antonio - TX	88	69	US
24	*Martín Valmaseda Santillana	Dec.	4	Madrid	92	74	ES
25	Francisco Martínez Garay	Dec.	13	Donostia-San Sebastián	87	69	ES

2026年 誓願者と叙階者の記念日

February 11

(60° profession)

Lahey, Robert Joseph (ME)

(70° profession)

Suárez, Manuel (ES)

February 24

(25° ordination)

*Tudu, Santosh (IN)

March 21

(50° ordination)

*Aoki, Isao Jean-Baptiste (JA)

March 26

(60° ordination)

*Bielza, Juan (ES)

*Cruz, Manuel (ES)

*Schwager, Hugo (SU)

(70° profession)

Hatabara, Kazuyoshi Antoine (JA)

Nakashima, Satoshi Paul (JA)

April 29

(25° profession)

*Kullu, Birendra (IN)

*Lakra, Rajesh Kumar (IN)

*Nitta, Prasad (IN)

*Polisetty, Chinnaiah (IN)

Surin, Augustus (IN)

Tigga, Lucian (IN)

Aalxo, Kerobim (IN)

June 2

(25° ordination)

*McGuigan, David Bernard (US)

June 13

(50° profession)

Balletta, Stephen Vincent (ME)

Meehan, Dermot Gerard (ME)

Poletti, Roger Adrian (ME)

June 23

(25° profession)

Comoé, Patrice (IV)

June 29

(25° ordination)

*Ilabi, Abdon (FR)

June 30

(25° ordination)

*Floriani, Loris (IT)

July 28

(25° profession)

Kimeu, Charles Munyao (EA)

Okisai, Phillip Adoka (EA)

August 15

(50° profession)

Sullivan, Michael (US)

(60° profession)

*Casella, Pierangelo (IT)

(70° profession)

Marin, Luciano (IT)

Pugliesi, Santino (IT)

*Santacroce, Salvatore (IT)

August 22

(60° profession)

Halloway, William Gregory (US)

Kamis, Joseph Henry (US)

Marcinowski, Gary Michael (US)

Oldenski, Thomas Edward (US)

Suda, Thomas (US)

Sullivan, Jeffrey Paul (US)

September 2

(75° profession)

Dreiling, Herbert (OE)

September 5

(50° ordination)

*Long, Garrett John (ME)

September 8**(70° profession)**

Damm, Frank Louis (US)
Jablinski, Adolph Paul (US)
Thompson, Kenneth Hull (US)
Wayer, Vincent Anthony (US)

(75° profession)

*Russell, James Aloysius (US)

September 11**(50° ordination)**

*Briones, Joaquín (ES)

September 12**(50° profession)**

*Canseco, Francisco T. (ES)
Fuentes, Domingo (ES)
Jáuregui, José Manuel (ES)

(60° profession)

*Aguilera, Enrique (ES)
Eguíluz, Rafael (ES)
*Erdocia, Félix (ES)

Gil, Julio (ES)

*Vicente, Antonio de (ES)

(70° profession)

Álvarez, Manuel (ES)
Gutiérrez, Lauro (ES)
Lejarza, Teófilo (ES)
Pascual, José (LA)
Rojo, Amador (LA)
*Subero, Francisco Javier (ES)

(75° profession)

*Ayuso, Jesús (ES)
*Bielza, Enrique (LA)
*Bringas, Antonio (ES)
Fernández, José (ES)
Santidrián, Julio (ES)

September 18**(80° profession)**

Pedrosa, Máximo (ES)

October 10**(50° profession)**

Gozio, Davide (IT)
*Graziola, Giancarlo (IT)

October 12**(70° profession)**

Rey, Sabas (LA)

(75° profession)

*Collicelli, Antonio (IT)

October 14**(25° ordination)**

*Abou, Yapi Mathieu (IV)

November 1**(50° profession)**

Lee, Seok Eun Dominic (KO)

出 版 物

ファウスティーノ

尊者ファウスティーノの列聖調査に関する公報はリンクを通して 3 か国語で得られます。
ファウスティーノと共に、[2025 年 12 月](#)
私たちは皆さんが読んでそれらを分かち合うようお勧めします。

マリアニスト家族における資料の分かち合い



私たちは定期会報 No13 新しいワインを皆さんと分かち合いたいと思います。
“マリアニスト家族における資料の分かち合い”、CEMAS の調整役ホセ・イグナシオ・イグレスシア士から送付。新しいワインを読むのには次をリンク先をクリックしてください: [Newsletter](#)

汚れなきマリア修道会総長の回章



私たちは、汚れなきマリア修道会総長、シスタースーザンナ・キムからの回章 No9 を皆さんと分かち合っています。回章を読むために次のリンク先をクリックしてください: [Circular](#)

最近の総本部通信

- 訃報：24－25 号
- 12 月 8 日：クリスマスメッセージとマリアニスト家族の典礼暦、マリアニスト家族世界評議会（WCMF）から 3 か国語で全マリア会員に送付
- 12 月 9 日：2026 年、マリアニスト教育事業年鑑のための情報提供、教育局長、デニス・パウティスタ士から行政単位の教育補佐へ 3 か国語で送付（ラテンアメリカと日本を除く）
- 12 月 15 日：新しいワイン、会報 No13、マリアニスト研究センターの国際調整役、ホセ・イグナシオ・イグレスシア士から CEMAS の責任者、ゾーン議会議長、行政単位の上長、養成所の責任者、WCMF のメンバーに 3 か国語で送付